

Journal of English Language Education and Research 投稿規定

本規定は、千葉大学英語教育開発センターの発行するジャーナル（以下、本誌とする）への投稿に関して定めたものである。

（名称、発行の頻度）

1. 本誌は、名称を Journal of English Language Education and Research とし、査読付きの論文集として毎年 1 回発行される。

（本誌発行の目的）

1. 本誌は、千葉大学の英語教育に関連する研究の成果を発表する機会を提供し、教員相互の研究に関する情報の交換を促進することにより、千葉大学の英語教員の研究活動の質的な向上を図ると共に、平素の教育活動の活性化に寄与することを目的とする。

（投稿者の資格）

投稿者は次のものに限る。共著論文の場合、1 から 4 以外の著者を共著者として含めることができる。

1. 千葉大学専任教員
2. 千葉大学普遍教育英語科目担当教員
3. 千葉大学名誉教授
4. 千葉大学英語教育開発センタージャーナル編集委員会が認めたもの

（論文の種類、研究対象の範囲）

1. 投稿できる論文の種類は、研究論文または実践報告とする。研究論文・実践報告の別は執筆者が投稿申込時に指定することとする。ただし、ジャーナル編集委員会が確認し、必要に応じて変更を促すこともある。
 - (1) 研究論文：当該分野で一定の結論を出し、その分野に貢献すべき内容が分析、議論されているもの。導入と結論を明記し、先行研究を踏まえた当該論文の位置づけ、分析、議論にあたる記述を含むこと。
 - (2) 実践報告：当該分野における研究の進捗状況を公表し、将来その分野において貢献する可能性のある研究経過をまとめたもの。
2. 研究対象の範囲は、英語教育学、応用言語学、言語習得等の分野とする。

（使用言語）

1. 使用言語は、英語または日本語とする。英語を母語としない投稿者による英文原稿は、提出前に必ず英語母語話者による校正を受けることとする。同様に、日本語を母語としない投稿者による和文原稿は、提出前に必ず日本語母語話者による校正を受けることとする。

（未発表原稿）

1. 投稿される論文は本誌で既に公表されているもの、他の学術刊行物に公表されているもの（あるいは公表予定であるもの）、投稿中であるものに対し、記述言語を問わず、内容的に同一あるいは酷似したものであってはならない。

（著作権，転載の禁止）

1. 著作権は千葉大学英語教育開発センターに所属し、著者論文であるなしにかかわらず、本誌に掲載された論文を本センターの許可なく無断で、メディアの手段を問わず、複製あるいは転載することはできない。

（投稿の方法）

1. 本誌の投稿者は、Microsoft Word を使用して作成した原稿を、ジャーナル編集委員長宛てに電子メールの添付ファイルとして送信する。
2. 論文の構成や形式、図表の作成方法について、詳しくは American Psychological Association 発行の *APA Publication Manual* の最新版の形式に準ずる。
3. 和文・英文とも横書きとし、A4 縦白色の用紙に、天地左右の余白をそれぞれ 3 センチとる。使用する書体は、和文の場合「明朝体」、英文の場合「Times (Times New Roman)」とする。文字の大きさは和文の場合 10.5 ポイント、英文の場合 12 ポイントとする。1 ページの行数は英文の場合は 35 行、和文の場合は 1 行 40 字とする。投稿原稿の枚数は、原則として 10 枚を上限とする。原稿は横書きとし、資料、図、表、註、参考文献などは全てを含めて制限枚数の中に収める。
4. その他の論文中の書式については、テンプレートに従って執筆する。
5. 投稿原稿は、題名、氏名及び所属、アブストラクト（本文で使用する言語に関わらず、200 語以内の英文の要約を付ける）、キーワード（本文で使用する言語に関わらず、英語で 5 つ以内）、本文、註、参考文献、付録の順で配列すること。
6. 本誌のレイアウトはジャーナル編集委員会の責任で行う。

（査読・校正）

1. 投稿原稿は、ジャーナル編集委員会または千葉大学英語教員で構成される査読者による査読審査を経て、編集委員会において掲載可否が決定される。
2. 編集委員会は査読審査の結果に基づき、投稿原稿の修正を投稿者に求めることができる。
3. 編集委員会によって修正を求められた場合、あるいは再審査と判断された場合は、所定の期日までに修正原稿を提出しなければならない。その際、査読担当者からのコメントへの対応を記述したものの（書式自由）を併せて提出する。

（その他）

1. 原稿料は支払わない。
2. 投稿原稿は公刊とともに、千葉大学リポジトリに登録され Web 公開されるものとする。投稿者はエントリーの段階でこのことを了承するものとする。
3. 出版後に剽窃等の不正が発覚した場合、当該論文をジャーナルから削除する。

2023年3月1日 制定